

とよた市議会 だより

9月市議会
定例会号
平成25年10月15日

ファイルNo.
117

歳出総額2,456億円(一般会計:1,594億円、特別会計:597億円、企業会計:265億円)(承認第4号)

平成24年度一般会計を始め14件の 決算を認定しました

西広瀬工業団地の用地を拡張(議案第101号)
ものづくり基盤の更なる強化を進めます

特別委員会

議員定数の調査
研究を行っています
7ページ



防災訓練の様子
(藤岡地区)

ピックアップ
TOPICS
トピックス

共働による災害対策

8月31日(土)午後4時から、藤岡地区で、夜間に発生した被害を想定し、家庭や地域、消防団、学校が連携して「いざというときに備える」ために防災総合演習を行いました。参加者は約900人。今回は中学生、高校生が中心となる訓練や初の参加となった自衛隊が消防署、消防団と合同で行う救助・救出訓練も行われ、防災意識の向上につながる一日となりました。市では防災基本条例の制定により、今後より一層市民、事業者、市が一体となった災害対策を進めます。

●トップインフォメーション

議員の仕事 ～行政視察～ 2

●議案説明・討論 条例の制定 4

●議案審議結果 5

●常任委員会 付託案件・請願を審査 6

●議員定数の調査研究 7

市政について問う!

●一般質問 23人の議員が質問 8

●トピックス

地域市議会報告会・市民シンポジウムの開催

議場コンサート

中学生傍聴など 12

TOYOTA CITY COUNCIL



議員の仕事



行政視察

議会、議員の活動は、議場や会議室だけにとどまりません。今回は、7月に行われた5つの常任委員会と、8月に行われた特別委員会の行政視察について、概要を報告します。

企画総務委員会	
視察日	7月30日(火)～8月1日(木)
視察場所	千葉県 習志野市 東京都 武蔵野市 神奈川県 藤沢市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメント白書 ・市税のクレジット納付 ・Yahoo!JAPANとの情報発信等に関する包括協定



藤沢市では、平常時の情報発信手段の確保を目的としたYahoo!JAPANとの情報発信に関する協定や、フェイスブックなどを活用した市政情報の積極的な発信に関する取組について学びました。

生活社会委員会	
視察日	7月30日(火)～8月1日(木)
視察場所	富山県 富山市 新潟県 柏崎市 東京都 世田谷区
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水のペットボトル販売 ・災害に強い地域づくり ・自転車利用憲章



地域住民がお互いに支えあえる関係の重要性から、顔の見える活動で災害に強い地域づくりを行っている柏崎市の北鯖石地区コミュニティ審議会を視察し、新潟県中越沖地震の実体験を基にした、防災訓練をはじめ要援護者の支援体制づくりや地域内の危険箇所点検などの隣近所から始まる防災の取組を学びました。

教育次世代委員会	
視察日	7月29日(月)～7月31日(水)
視察場所	神奈川県 横浜市 栃木県 宇都宮市 埼玉県 北本市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所待機児童対策 ・家庭教育手帳 ・学校支援地域本部事業



宇都宮市では、小中学生の保護者を対象に配布した、子どもの教育に関して日々の生活場面において役立つ便利帳である「家庭の教育手帳」について説明を受け、今後の豊田市の取組の参考となりました。



環境福祉委員会	
視察日	7月23日(火)～7月25日(木)
視察場所	群馬県 前橋市 千葉県 千葉市 日本理化学工業株式会社(神奈川県川崎市)
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電の取組 ・生ゴミ分別収集モデル事業 千葉バイオガスセンター ・障がい者雇用の取組



チョコの国内生産がトップであり従業員全体の70%以上が知的障がい者である日本理化学工業(株)では、今ある能力で仕事ができ、より能力を高めていけるような作業方法の工夫・改善など、障がい者が働きやすい環境作りやサポート体制の取組について学びました。

産業建設委員会	
視察日	7月22日(月)～7月24日(水)
視察場所	京都府 京都市 山口県 下関市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・清酒の普及促進に関する条例 ・みのりの丘ジビエセンター(獣肉処理施設) ・中心市街地活性化にぎわいプロジェクト



下関市では、今年4月から稼働した獣肉処理施設を視察し、本市が平成26年度に足助地区に建設を予定している獣肉処理施設の建設に向けて、野生獣による農作物への被害の状況や取組、処理後の肉の活用方法及び施設の現地視察を行いました。

再生可能エネルギー 推進条例制定特別委員会	
視察日	8月27日(火)～8月29日(木)
視察場所	神奈川県 鎌倉市 大阪府 大阪市 滋賀県 湖南市
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例 ・再生可能エネルギーの導入等による低炭素社会の構築に関する条例 ・地域自然エネルギー基本条例



議員提出条例の制定に向け、再生可能エネルギー推進条例を先進的に制定した自治体を視察しました。滋賀県湖南市では、太陽光パネルを福祉施設の屋根に設置し、市民からの投資により運営する取組及び条例を視察しました。

視察後は、意見交換会を開催し、調査事項に対する委員間の情報共有をして、理解を深めました。その結果は委員会の視察報告書として取りまとめ、所管の部局へ情報提供をしたり本会議や委員会での質疑や提言をとおして、市政に反映をしていきます。

視察報告書は、市役所市政情報コーナー(南庁舎1階)でご覧いただくことができます。



防災基本条例の制定、工事請負契約の締結など27議案を議決

主な案件名	内 容
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">条例の制定</p> <p>【第79号】 防災基本条例</p>	<p>市民、事業者及び市が一体となって災害対策に取り組みます。</p> <p>市民が安全で安心して暮らすことのできる災害に強いまちを実現するため、自助、共助、公助の理念をもとに市民、事業者、市の責務を明らかにするとともに、市民の生命、身体及び財産を守る上で必要な基本理念ならびに災害の予防対策、応急復旧対策、復興対策及び応援協力に関する基本的事項を定めるものです。</p> <p>特に、この条例では、市議会の責務が明確にされ、災害対策に関する調査・研究や、市長への提言、必要に応じた情報発信などが規定されました。</p>

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

諸 派 根本美春

請願第4号は、世論調査の結果では反対が7～8割であること、増税をわずか3ヵ月の経済動向で判断することは誤りであること、所得が減り、物価が上昇する中で、消費税を販売価格に転嫁できない中小企業が多いため、増税によって日本経済が底抜けする危険性があること、増税による景気悪化によって税収を減らし、消費税増税分が景気対策として公共事業の追加などに使用されることで、その結果、財政をさらに悪化させる恐れがあるなどの理由から、賛成。

自民クラブ 太田博康

議案第79号の豊田市防災基本条例について、安心して暮らせる災害に強いまちの実現に向けて市民・事業者・行政及び関係機関・議会それぞれの役割・責務を明らかにし、共働で防災への取組を推進していくとしたことを高く評価するとともに、災害時要援護者に対して避難の支援を受けるために必要な情報の提供を盛り込んだことや、他の自治体の応急・復旧への支援やその活動拠点としての役割を担うと明記したことを評価し、賛成。

市民フォーラム 安藤康弘

議案第101号の財産の処分(西広瀬工業団地拡張用地)について、今回の企業進出が用地面積と価格、交通アクセスの優位性などが決め手となって実現したと確認しているが、今後は、本市の安定した税収の確保、雇用の拡大、産業構造の拡大を図るため、市民フォーラムとして政策要望にも掲げている西広瀬工業団地拡張用地の完成に向けて、庁内体制を一層強化することを期待し、賛成。

公明党 佐藤恵子

承認第4号内の地域振興事業費は、旭地域会議で実施された間伐材の資源活用促進事業、井郷・猿投台地域会議で実施された高齢者向け福祉事業、美里地域会議の公園を活用したふれあい事業、藤岡地域会議の47災害を振り返るシンポジウムや災害時の要支援マップ作成等、これら事業は、地域課題の解決と地域活動の担い手の育成という観点で評価できるうえ、今後、公益性の高い事業へ発展させることができるため、賛成。

諸 派 岡田耕一

承認第4号内の病児・病後児保育費について。病児保育は、すすくくどもクリニックと豊田厚生病院の2施設で実施。両施設ともに平成24年度の延べ利用者数は約600人、委託料として各1,360万円を執行。働く子育て世代のための制度として高く評価する。対して、丸山こども園の病後児保育は、750万円を執行したが延べ利用者数は9人であった。利用の多い病児保育の設置を働きかけるとともに、病後児保育の役割については再検討をすべきと提言したうえで、賛成。

諸 派 青山さとし

承認第4号内の土木費について。旧富国橋撤去計画の事前調査で、国の天然記念物に指定され、絶滅危惧種でもあり、国・県のレッドデータブックにも掲載がある「ネコギギ」の生息が確認され、それに伴う工事変更や対策案などの予算が必要になった。今後、ネコギギが豊田市の河川で生息し続ける環境を残すため、橋りょうの撤去工事に伴うネコギギ生息地を保護するための最大限の対策と配慮を期待して、賛成。



議案審議結果

～とよた市議会だより～

平成25年

9月
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

9月市議会定例会に提出された案件

採決結果	議案	会派別賛否								
		自民クラブ 27名(1名欠席)		市民フォーラム 9名		公明党 4名		諸派 4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
	◆議案									
	第79号 防災基本条例	原案可決	26	0	9	0	4	0	4	0
	80 職員給与条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	81 基金条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	82 市税条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	83 手数料条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	84 税外収入に係る延滞金条例等の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	85 文化財施設条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	86 体育施設条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	87 百年草条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	88 知的障害者生活ホーム条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	89 国民健康保険税条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	90 旭高原自然活用村条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	91 産業福祉施設どんぐりの里いなぶ条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	92 香嵐渓施設条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	93 香恋の里条例の一部改正条例	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	94 平成25年度一般会計補正予算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	95 // 簡易水道事業特別会計補正予算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	96 工事請負契約の締結(旭簡易水道統合事業新時瀬浄水場機械電気計装設備工事)	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	97 // (旭簡易水道統合事業新時瀬浄水場浄水処理設備工事)	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	98 工事請負契約の変更(豊田大橋橋りょう耐震補強・補修工事)	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	99 // (一級河川安永川開水路整備工事(今工区))	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	100 財産の取得(児童生徒用机及び椅子)	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	101 財産の処分(西広瀬工業団地拡張用地)	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	102 都市公園予定区域の決定(籠川公園及び枝下緑道)	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	103 平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	104 // 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	105 和解の成立(損害賠償請求事件)	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	◆承認									
	第4号 平成24年度一般会計決算	認定	26	0	9	0	4	0	2	2
	5 // 国民健康保険特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	2	2
	6 // 食肉センター特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	7 // 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	8 // 分譲住宅建設事業特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	9 // 卸売市場特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	10 // 水道水源保全事業特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	2	2
	11 // 母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	12 // 介護保険事業特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	2	2
	13 // 財産区特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	14 // 簡易水道事業特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	15 // 後期高齢者医療特別会計決算	//	26	0	9	0	4	0	2	2
	16 // 水道事業会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	17 // 下水道事業会計決算	//	26	0	9	0	4	0	4	0
	◆同意									
	第4号 教育委員会委員の選任(再任:豊田彬子氏)	同意	26	0	9	0	4	0	4	0
	◆報告									
	第7号 経営状況の報告(豊田市土地開発公社はじめ20法人)									
	8 専決処分の報告(工事請負契約の変更2件、損害賠償額の決定8件、和解の成立1件)									
	9 平成24年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告									
	10 専決処分の報告(和解の成立2件)									
	◆請願									
	第4号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	0	26	0	9	0	4	3	1
	◆陳情									
	第2号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書									
	3 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書									
	4 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書									
	5 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書									



9月11日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。
委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

産業建設 委員会

9月19日、付託されました4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第101号】財産の処分
西広瀬工業団地拡張用地

質問 処分した用地では、どのような事業に取り組むのか。現工場と比べて、規模はどの程度拡大するのか。

答弁 主に自動車部品からレアメタル等の再生や、次世代自動車からコストをかけずにレアメタル等を再生する新しい技術の研究を行う。また、現工場と比べて、工場敷地の面積は2倍強、建物面積は3倍強に拡大するとともに、売り上げの増加も見込まれ、事業規模が拡大する。



環境福祉 委員会

9月20日、付託されました2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第88号】豊田市知的障害者生活ホーム条例の一部を改正する条例

質問 法律に基づく事業への移行とのことだが、今後の市の負担はどのようになるのか。

答弁 利用者を7名と想定した場合、市の負担額は約700万円だが、法定事業化により、国県負担金や家賃収入などにより、年間

370万円程度の財源を確保できる見込みである。

一方、利用者への家賃補助制度の適用により、新たに市の負担額が年間84万円増えるが、以上のことを差し引きすれば市の負担は、現在よりも大きく減少することになる。

教育次世代 委員会

9月24日、付託されました3議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第100号】財産の取得
児童生徒用机及び椅子

質問 地域材の購入ルートの確認は、どのように行っているのか。

答弁 使用する木材については、「愛知県産材認証機構認定事業者」又は「豊田加茂地域木材認証制度認定事業者」から購入することとし、木材の産地は、豊田市産と仕様書に定めている。学校へ納品する前に、認定事業者からの出荷証明書の提出により、販売日・相手先名・品名・サイズ・数量などについて、地域材の購入先を確認している。



生活社会 委員会

9月25日、付託されました10議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第79号】豊田市防災基本条例

質問 条例制定後、市民や事業者に対して、条例の理念を理解してもらうために、どのようなことを考えているのか。

答弁 条例の周知に関しては、広報やホームページはもちろんであるが、条例を分かりやすく紹介する概要版を作成し、講演会や防災フェスタなどの啓発事業を通じて周知を行う。事業者へは、地震対策事業者連絡会等を通じての意見交換を行い、周知を図る。

企画総務 委員会

9月26日及び30日、付託されました6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第81号】豊田市基金条例の一部を改正する条例

質問 都心中心部の緑化イベント事業での活用を考えているとのことだが、イベントの効果について、どのように考えているのか。

答弁 都心中心部でのイベント開催により、これまでの都心緑化の取組の見せる化を図っていく。効果としては、とよたエコフルタウン第2期整備の完了などを契機と捉え、継続的な緑化イベントの展開により、都心の民有地緑化を誘導でき、緑化に関する意識の向上が図られることなどが見込まれる。





委員会

予算決算 委員会

9月12日から27日にかけて委員会及び分科会が開催され、付託された補正予算2議案と決算案件14件を審査し、すべての案件を承認及び認定しました。

【承認第4号】平成24年度
豊田市一般会計決算
(契約事務費)

質問 公契約基本方針に基づく労働者提案について、どのように評価しているのか。

答弁 労働者提案は、賃金の支払い、労働条件の向上、雇用の創出の3点について提案を求めている。対象となった工事は、通常の工事と比較して、賃金水準の向上など、一定の効果があつたと評価している。一方で、提案事務の負担増による入札参加者数の減少、提案内容の固定化、労働者提案の対象工事と対象外工事の労働条件の格差など、新たな課題も挙げられる。公契約基本方針の理念を踏まえ、新たな課題にも対応すべく、必要に応じて見直しを図っていきたい。

【承認第4号】平成24年度
豊田市一般会計決算
(防犯活動推進費)

質問 平成23年度と比較してどのような特徴があるのか。

答弁 犯罪多発地区及び、市営駐輪場等の巡回業務について、平成23年度までは、緊急雇用創出事業を活用し、労働費で執行していたものを事業終了に伴い、業務内容を強化し、地域振興費で執行した。強化した内容としては、犯罪多発地区の深夜巡回業務の車両を4台から6台に増やし、通学路等安全業務の車両を1台から2台へ増やした。また、多発する自転車盗対策として市内の中学校及び高校の全生徒に対し、チェーンロック24,000個を配布し、ツーロックの呼びかけを行った。



【承認第4号】平成24年度
豊田市一般会計決算
(障がい者就労・生活支援センター費)

質問 52名の障がい者が就労したとのことだが、どのような業種に就労されたのか。

答弁 主な就労先の業種は、製造業、サービス業、卸売・小売業である。この3業種には、52名中44名が就労している。

特別委員会

議員定数の調査研究を行っています

平成23年の地方自治法改正で法定上限数が撤廃され、各自治体の議員定数は条例で任意に定めることとなりました。現在の定数は46名です。

今年度、議会活性化推進特別委員会では、「本市に適正な議員定数の調査研究」をテーマに、現在、①全国の議員定数の動向把握と分析、②市民意見の把握、③有識者ヒヤリング調査、④各種団体との意見交換会などを実施し、本市に適正な議員定数を調査研究しています。

その検討状況については、12ページ掲載の11月9日(土)開催の地域市議会報告会、平成26年1月26日(日)開催の市民シンポジウムにおいて報告するとともに、皆様からご意見をお伺いする予定です。



一般質問

～とよた市議会だより～

平成25年

9月
定例会号

9月9日から11日にかけて、23人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する12月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

三江弘海

自民クラブ



- 合併・新市誕生10年を前に
- 矢作川流域の一員としての取組

質問 小選挙区の14区問題

選挙区が分断されていることの unnaturalさの解決を図る取組について伺う。

答弁 市長

豊田市は衆議院議員選挙の小選挙区において稲武地区が14区、稲武地区以外が11区と分断されている。この14区問題は合併以来の課題だが、同じような状況に置かれた自治体が全国に約90あると聞いている。今回、「0増5減」の区割り法案が成立した際に、この事例について国は踏み込まなかった。しかし、今後、抜本改革に向けて議論が深まっていくはずだ。市としては、引き続き、豊田地域が同一の選挙区になるように関係機関に働きかけていく。

吉野博子

市民フォーラム



- 歳入増加から考える市政経営
- 環境モデル都市はどう進展したか

質問 歳入増加に関する市長の思い

歳入増加に関する市長の思いを伺う。

答弁 市長

他の自治体に比べて本市の財政構造は安定しているため、基金の繰り入れは積極的に自主財源として評価していると考えている。法人市民税が充実しているときには基金の増額を図り、法人市民税が低迷したときに基金の取り崩しをするという独特の財政運営は、本市の特性を踏まえた財政運営の要諦である。それを前提に、本市の市税収入をさらに維持拡大するためには、定住対策を促進するとともに、現状の産業活動を維持拡大するための施策と新産業を誘導するための施策というメリハリのある産業政策に取り組んでいく必要がある。

岡田耕一

諸派



- 近隣に迷惑をかける家屋等への対応
- 本市における更なるごみ減量化

質問 新たな条例制定の考え

ごみ屋敷や空き家の老朽危険家屋の問題に対応した条例を制定している自治体は多い。本市でも不適正管理家屋等に対する新たな条例を制定すべき。所見を伺う。

答弁 都市整備部

ごみ屋敷は、現在個別に対応できているため、新たな条例の制定は考えていない。また、空き家となった老朽家屋は、今年度、都市整備部の重点目標の課題懸案として、条例化も含め、空き家問題について検討している。しかし、当面は建築基準法第10条の運用調整により対応が可能と考えている。

都築繁雄

自民クラブ



- 医療対策懇話会の検討状況
- 持続可能な社会への取組

質問 ユネスコ世界会議の開催概要

来年、名古屋市で開催されるESD(*)に関するユネスコ世界会議への本市の取組について伺う。

答弁 環境部

各国政府の閣僚級を含む約1,000人が参加し、「国連ESDの10年」の活動を振り返るとともに、2014年以降の方策を議論することになっている。

本市においては、ユネスコスクールへの加盟やパートナーシップ事業への登録をすすめるほか環境など多様な取組を積極的に情報発信していきたいと考えている。



土橋小学校での環境学習の様子
※ESD…持続可能な開発のための教育

山田主成

自民クラブ



- 2017年人口43万人に向けての住宅施策

質問 藤岡地区御作小学校区の規制緩和策

市街化調整区域である藤岡地区御作小学校区で、建築の規制緩和のために開発審査会基準の見直しを検討できないか。

答弁 都市整備部

御作小学校区の規制緩和策は、制度(市街化調整区域における中山間地域等のコミュニティ維持を目的とした開発審査会基準第18号)の指定地区要件にある人口1,000人未満または人口減少率10%以上のいずれの基準値にも近い地区であると認識している。したがって、引き続き人口の推移を注視し、基準値を割り込んだ時点において、地域の意向を踏まえううえで、この制度の対象地区とする手続きを進めていく。

牛田朝見

自民クラブ



- 第2次豊田市教育行政計画の取組状況

質問 県立三好養護学校過大化解消への取組経過

県立三好養護学校過大化解消に向けた、これまでの市の取組経過はどのようか。

答弁 教育行政部

本市は、障がいの状態や保護者の意向を踏まえながら、地域の小中学校の特別支援学級での受け入れに努めているが、特別な教育を必要とする児童生徒の数は依然として増加している。三好養護学校過大化の問題は、継続的に県との協議を進めてきた。県・市懇談会や県市長会議における懇談テーマや議題として提案したほか、愛知県市町村教育委員会連合会を通じて予算措置要望を県に提出。また、8月20日には、市議会及びみよし市の賛同を得て、両市の市長・議長・教育長が愛知県知事に対し要望書を提出した。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

河合 芳弘
自民クラブ



- 環境先進都市の実現に向けた今後の展開
- 交通インフラと将来のまちづくり
- 地域包括ケアシステム

質 問 道路インフラの整備計画
今後10年間に整備される主な道路インフラの整備計画について伺う。

答 弁 建設部
本市は「豊田市幹線道路整備計画」として国・県・市が連携し13の路線を重点的に整備している。今後10年間に整備が予定される主な道路は、外環状線になる豊田南バイパス・北バイパス、内環状線の一部になる市事業の高橋細谷線。放射道路では、国道301号、局部改良として九久平交差点・根引峠現道改良・松平バイパス、国道419号、国道153号伊勢神改良のほか、豊田刈谷線の整備。また、名古屋連絡道路では、名古屋岡崎線の吉原町を含めた未整備区間が完了する。その他、豊田則定線の整備、現東名高速道路には、上郷スマートインターチェンジも設置する。

稲垣 幸保
自民クラブ



- 災害時の被災者生活再建支援

質 問 被災者の生活再建を支援する市独自の制度創設

災害時における生活の拠点である住宅敷地被害に対する支援制度がないことは、大変不満である。市民の安全・安心に応える「生活再建を支援する市独自の制度」を、あらゆる角度から検討し、準備すべきではないか。

答 弁 社会部
被災者の生活再建支援については、個人の財産に対する公的支援の範囲の妥当性、あらゆる準備をすることの実現性などの点を踏まえ、今後の国・県の生活再建支援制度の動向を見極めながら対応する。

田代 研
公明党



- 高齢者の健康対策

質 問 胃がんリスク検診の導入
胃がんリスク検診(採血をし、胃がんの主原因とされるヘリコバクター・ピロリ感染の有無と、胃粘膜の萎縮度を調べることで、胃がんになりやすいかどうかを確認するもの)の導入に関する本市の考えは。

答 弁 健康部
本市は平成20年3月に国から示された「がん予防重点教育及びがん健診実施のための指針」に沿ってがん検診を実施している。これによると、胃がん検診は問診と胃部エックス線検査となっており、リスク検診は含まれていないため、現在のところはリスク検診の導入の予定はしていない。今後は検診の有用性や他の自治体の導入の状況など情報収集に努めていく。

中村 孝浩
市民フォーラム



- 3歳未満児待機児童対策

質 問 事業所内保育に対する支援
事業所内保育に対する支援として施設整備補助制度の創設と、保育コンシェルジュ導入について本市の考えは。

答 弁 子ども部
現在、市内15箇所の事業所内保育所に対して認証保育所交付金制度により運営費の一部を補助している。今後は企業ニーズなどを把握し、複数企業の共同による設置も含め、施設整備に対する助成制度を検討していく。また、他市で導入している保育コンシェルジュ等の機能は、すでに本市ではその機能を有している。子育て支援センターでの相談機能についても、研修の実施やこども園の空き状況の情報提供など、さらなる機能の充実を図っていく。

山口 光岳
自民クラブ



- いのちを大切にす取組
- 地域の振興と活性化

質 問 「おいでん・さんそんセンター」
「おいでん・さんそんセンター」の働き・役割はどのようなか。

答 弁 企画政策部
「おいでん・さんそんセンター」の役割は主に4点ある。まず1点目は、都市部、農山村部それぞれの住民・自治体・団体・企業等のニーズや資源を集め、それをつなぐ機能。2点目は、農山村地域で展開されている市民活動・社会貢献活動などの地域づくりを支えていく機能。3点目は、地域づくりを支えている人・団体・地域を育てる機能。4点目は、都市や農山村部のそれぞれの魅力を伝える機能。つまり、「つなぎ、支え、育て、伝える」という4つを主要な機能と考えている。

鎌田 ひとみ
公明党



- 子どもの健全育成のために
- 出会い創出事業
- 慢性腎臓病対策

質 問 体罰ゼロに向けた対策
体罰によらない学校づくりに向けたどのような対策をとっているのか。

答 弁 学校教育部
小学校では指導を学級担任任せにせず、管理職の観察・指導助言を行い、中学校では、過熱した部活動指導が体罰につながらないよう「運動部活動での指導ガイドライン」を周知理解させている。教職員に対しては、チェックリストによる自己点検を実施しているほか、体罰による指導は児童生徒の身体と心を深く傷つけ、信頼関係を損なうものであることを機会があるごとに指導している。また、校長に対しては、体罰をした教職員に対する処分などを具体的に明示し、体罰禁止の指導を徹底するよう指示している。



梅村 憲夫

自民クラブ



- 医療行為が必要な重症心身障がい児・者の地域生活支援

質問 親亡き後の障がい者への対策

介護者亡き後の障がい者に対する介護の対策と施設整備の考えは。

答 弁 都市整備部

介護者亡き後の障がい者に対する介護については、重度障がい者であっても住み慣れた地域で暮らし続けることを方針に施策展開を図っていく。具体的にはケアホーム等に暮らし介護とともに訪問介護等による医療サービスを受けながら、日中は通いの施設を利用するという生活を実現できる環境整備が必要と考えている。一方、医療システムの整備に関し、現在、豊田市地域自立支援協議会においてグループホーム・ケアホーム情報交換会を定期開催し、様々な情報交換を行っているが、今後、民間事業者と共働しながら、重度障がい者の居住の場の確保に向けた取組を行っていく。

羽根田 利明

自民クラブ



- 交通事故のない社会をめざして

質問 今後の歩道整備方針、予算確保

今後の歩道整備方針に加え、近年徐々に減じられている歩道整備予算の今後の確保に向けた考え方を伺う。

答 弁 建設部

歩行者の安全を確保するには歩道整備が最も有効な手段と考えている。そのため、歩道の設置については、今後も引き続き自動車交通量や歩行者需要、通学路の指定状況、公共施設周りなど周辺土地利用状況を十分考慮し進めていく。また、歩道整備については、今後一層の事業推進に努めるとともに、計画的な整備が推進できるよう、次期総合計画で位置づけていく。

桜井 秀樹

市民フォーラム



- 豊田市の公共交通

質問 公共交通のあり方と地域バスの考え方

地域バスを含めた公共交通の取組と、今後のバス運行の考え方は。

答 弁 都市整備部

現行の公共交通基本計画に基づくバスのネットワーク整備は、ほぼ完了したと考えている。しかし、これを維持するには、市民の理解と積極的な利用が不可欠であるため、バス評価の結果を正しく理解してもらうとともに、運行改善の必要性と地域における運営努力の重要性について説明していく。また、啓発事業を継続的に実施することで、「自らバスを運営し、自ら利用する」という意識を醸成していく。特に地域バスについては、地域の頑張りの度合いに加え、収支率の向上や利用者の増加につながる地域による応分負担を評価の視点に位置づけることも視野に入れていく。

小島 政直

公明党



- 地域建設業が地域産業として持続できる施策展開
- 脊柱側弯症の対策
- がん対策の充実を目指す豊田市の構築

質問 「がん教育」充実のための施策

子どもたちに対する「がん教育」をどのように充実させ、展開するのか。

答 弁 教育長

子どもたちが生涯にわたって健康に暮らすためには健康教育の推進は不可欠である。子どもたちが「健康と命の大切さを学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識と、がん患者に対する正しい認識を持つこと」は大切であり、子どもが学ぶことにより親への啓発にも効果がある。文部科学省は平成26年度からモデル校

を設置して、独自の教材づくりや先進的事業のあり方、教員研修の実施など、がん教育について総合的に学べる体制づくりを計画している。この動向を注視しながら小中学校における新たながん教育の取組を行っていく。

山野辺 秋夫

市民フォーラム



- 豊田市の環境への取組

質問 充電施設インフラ整備の促進・運用

充電施設インフラ整備の促進・運用をどのように行っていくのか。

答 弁 企画政策部

愛知県は7月に策定した「次世代自動車充電インフラ整備・配置計画」は、平成32年度末までに県内に1,431箇所の充電インフラを整備することを表明した。この計画では豊田市内に新たに53箇所の整備が必要としている。県の計画に基づき、現在、市の整備方針を検討しており、9月末に策定したいと考えている。市街地は民間による整備を基本とし、郊外部は民間による整備を誘導しつつ公共施設に整備することを検討。運用については、愛知県と連携し、広域での空き情報の提供や予約システムの導入を検討し、利便性の向上と次世代自動車の普及促進につなげていく。

青山 さとし

諸 派



- ペットボトル水「とよた水物語」

質問 とよた水物語の保存期間、販売方法

災害備蓄用ペットボトル水「とよた水物語」の保存期間、販売方法は。

答 弁 上下水道局

後川浄水場の水道水は、長期保存に適した水質だったこともあり、今年度から5年保存が実現。当市の独自検査でも、6年以上保存したペットボトル水



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

に水質異常はみられなかった。販売は、市内在住者を対象に、10月1日から2か月間限定で災害備蓄用として500mlペットボトル水24本入りを箱単位で試験的に販売する。上下水道局総務課または豊田市ホームページ、電話、FAXにより注文を受け付け、郵送による代金引換(代引手数料、送料は購入者負担)。価格は1箱2,160円、1本あたり90円。その他、とよたエコフルタウンや市役所内のコンビニエンスストアでは1本100円で直接販売を行う。



大村 義則

諸 派



- 駅前通り北地区再開発
- ブラック企業を許さないために

質 問 市の補助金と負担金の金額、税金の割合

駅前通り北地区再開発事業費における市の補助金と負担金の金額、国・県の補助金を含めた「税金」投入の総額、及び総事業費に占める税金の割合は。

答 弁 都市整備部

補助金は国が32億円、県、市がそれぞれ約16億円で、総事業費に占める割合は約35%。道路、広場整備にかかる公共施設管理者負担金は、国が約16億円、県、市がそれぞれ約7億円で、総事業費に占める割合は約16%。これらの補助金の他に、保留床である地下駐車場の取得に伴う実負担額が約25億円で、総事業費に占める割合は約13%。これらの合計は約119億円で、総事業費185億円に占める割合は約64%。そのうち市費は48億円で割合は約25%である。

加茂 みきお

自民クラブ



- 旧県立豊田東高校の跡地利用
- 毘森公園の都市型整備
- 中央公園の整備事業

質 問 スポーツ施設を集中して整備する構想

スタジアム周辺に、公式戦に使用できる野球場、テニスコート、温水プールの更新・整備を提言したい。中央公園の今後の整備の進め方とスポーツ施設を集中して整備する構想はあるか。

答 弁 都市整備部

中央公園の整備については、都市計画決定後、財政状況に応じて公園用地を取得していくほか、引き続き、地元への理解活動をすすめていく。また、限られた公園用地の有効利用として人工地盤などの手法を含め、検討していく。

スポーツ施設を集中して配置する構想は、今後、具体的な整備内容をまとめる中で、都心近郊に位置する大型公園の機能として必要かどうかを考えていく。

光岡 保之

自民クラブ



- 暮らし満足都市にちなんだ本市の都市整備の課題

質 問 危険度判定調査の必要性

地域の災害危険度判定調査を導入してはどうか。

答 弁 企画政策部

阪神淡路大震災の教訓から、平成10年に災害危険度判定調査を実施した。その結果、市内で危険度の高い地域が13あった。今回の東日本大震災の教訓を踏まえ、今年5月、国土交通省が防災都市づくり計画策定の通知を出した。その中に、防災都市としての担い手である市民ひとり一人が災害リスクを理解して、地域の防災向上に努めることが必要と示されている。本市も、今後、想定される大震災に備え、再度、危険度判定調査を実施して、重点的・緊急的に整備が必要となる地区を抽出すること有効と理解している。

加藤 和男

自民クラブ



- 市民の安全・安心なまちづくり
- 水道水の安全・安心に向けて

質 問 今後の健全な水道経営にむけて

今後、どのように水道事業の健全性を確保していくのか。

答 弁 事業管理者

先を見据え、安全・安心・安定的な水を供給することは我々の使命。今後は、新たな取組による収益確保とともに、効率的な水道事業運営のためにも、「官民連携」だけでなく「官官連携」も進める必要がある。本市は県営水道への依存率が76%に上ることから、とりわけ愛知県との連携が重要と認識している。新たな事業展開に向けての「挑戦」と効率的な事業推進のための「連携」を重要な要素として位置づけるとともに、新水道ビジョンを策定し、健全で持続可能な経営に取り組んでいく。

根本 美春

諸 派



- いのちと暮らしを守る社会保障施策の拡充を
- 医療提供体制の地域的偏在

質 問 公的病院の設置についての考え

偏りをなくするための南部地域における公的病院設置についての考えは。

答 弁 市民福祉部

本市は、救急のたらい回しや出産する施設の不足などの問題は発生しておらず、受診の機会が概ね確保されている。現在、本市に割り当てられた基準病床数より既存病床数が少ないという状況だが、不足しているという認識はない。しかし、高齢化の急速な進展等、医療を取り巻く環境の変化に伴い、救急医療体制のあり方や在宅医療の推進などが、今後、取り組むべき課題であることは確かである。これらについては医療対策懇話会に提言をいただく予定である。



● ● ● ● 皆様のご来場をお待ちしています ● ● ● ●

地域市議会報告会
市民シンポジウムの開催

- 日時・場所／平成25年11月9日(土)
10:00～ 上郷交流館
(豊田市上郷町5-1-1上郷コミュニティセンター内)
- 14:00～ 旭交流館
(豊田市小渡町船戸15-1)
- 内 容／9月定例会報告、質疑、意見交換会



今年4月開催の様子

- 市民シンポジウムは平成26年1月26日(日)14:00から
崇化館交流館で開催します。

議場コンサート

ダービーシャー姉妹都市提携15周年を記念してコンサートを開催します。

- 日 時／平成25年10月30日(水)
12:15～12:50
- 場 所／議場(南庁舎7・8階)
- 出 演／ダービーシャー
青少年吹奏楽団
- 入場料／無料(申込不要)



平成17年度開催の様子

●交通安全啓発活動 9月6日(金)

この日の本会議終了後、市議会議員による交通安全啓発活動を実施しました。一人でも多くの市民に交通安全の意識を高めてもらおうと、市長はじめ特別職・幹部職員の参加も得て街頭活動に取り組みました。



市役所南庁舎前、国道153号沿いでの活動の様子

●中学生傍聴 9月9日(月)

藤岡中学校(梅村清春校長)3年生の生徒131名が社会科の授業の一環として9月定例会の傍聴に訪れました。生徒たちはクラスごとに4人の議員の一般質問を熱心に聞いていました。



熱心に傍聴する藤岡中学校の生徒のみなさん

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望も受け付けていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 http://toyota-shigikai.jp

「市議会だより」のバックナンバーや
詳しい会議録もご覧いただけます。

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



F M ラ ジ オ で

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は
12月6日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。
本紙から抜き取ってご覧ください。



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています

